

鶏サルモネラ症 (油性アジュバント加)不活化ワクチン(オイルバックスSET) に係る食品健康影響評価に関する審議結果についての御意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 平成16年7月29日～8月25日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. 主な御意見の概要及びそれに対する動物用専門調査会の回答

	御意見・情報の概要	専門調査会の回答
1	SE・ST等の食中毒菌感染鶏群にワクチンを接種しても、汚染卵が無くなれば良いが、少なくなるだけでゼロにはならないので、コマーシャル鶏に使用するのは、危険だと思います。他の対応策でも、農場の食中毒として危険なサルモネラをフリーにする方策が有るのだから、安易な方法を取らずに、業界全体として考えるべきと思います。	当調査会においては、本不活化ワクチンを接種することによる食品のリスク評価を行いました。SEやSTは既に国内環境中に広く存在し、現実として鶏に不顕感染を起こしています。また、ワクチン株は不活化されており、接種により新たにサルモネラ感染を起こす可能性は無いと考えられます。これらのことから、本ワクチンの使用によりあらたに食品のリスクが増加することはないと判断しています。